

平成19年度 事前評価実施地区一覧表

整理番号	都道府県	事業実施主体	事業名	事業実施地区名		総便益 (千円) B	総費用 (千円) C	分析 結果 B / C	チェックリスト												備考						
									必須事項					優先配慮事項													
									1	2	3	4	5	1 有効性		2 効率性		3 事業の実施環境等									
														(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(3)							
1	愛媛県	四国局	愛媛署	森林居住環境整備	肱川計画区 ひじかわ	44,079	29,375	1.50							B	A	-	B	A	-	A	A	A	A	A		
2	高知県	四国局	安芸署	森林居住環境整備	安芸計画区 あき	353,569	107,326	3.29							B	A	-	B	A	-	A	A	A	A	A		

森林環境保全整備事業、森林居住環境整備事業ごとに別様とする。

## 事前評価個表

事業名	森林居住環境整備事業（国有林）	事業計画期間	平成20年度～平成24年度
事業実施地区名 （都道府県名）	肱川森林計画区（ひじかわ） （愛媛県）	事業実施主体	四国森林管理局 愛媛森林管理署
事業の概要・目的	<p>肱川森林計画区は、愛媛県西部に位置し、内陸山間地帯から宇和海にまで面する区域であり、肱川及び面河川上流部に所在する、5,479 haの国有林の全区域を対象としている。</p> <p>当地域の立地条件等（奥地林・里山林）は多様であるが、自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>当地域では、水土保全、自然環境の保全など国有林に対する要請に応えつつ、集落周辺国有林の適切な森林整備を行うことにより、山村地域の居住環境の改善や都市と山村との交流等の促進にも資することを目的とする。</p>		
	主な事業内容	森林整備	保育面積 152 (ha)
費用対効果分析	総費用（C）	29,375（千円）	
	総便益（B）		
	水源かん養便益	23,852（千円）	
	山地保全便益	11,482（千円）	
	環境保全便益	3,952（千円）	
	木材生産便益	4,793（千円）	
	森林整備経費縮減等便益	（千円）	
	計	44,079（千円）	
	分析結果（B/C）	1.50	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性：森林の有する多面的機能の発揮に重要な役割を果たす山村において居住地周辺の森林整備を推進し、山村の就業機会の増大や定住条件の整備を図るため本事業の実施が必要である。</li> <li>・ 有効性：国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を、踏まえた計画的な森林整備の実施により、森林の有する機能を十分発揮させるために有効な事業と認められる。</li> <li>・ 効率性：費用対効果分析の結果から効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	森林居住環境整備事業（国有林）	事業計画期間	平成20年度～平成24年度
事業実施地区名 （都道府県名）	安芸森林計画区（あき） （高知県）	事業実施主体	四国森林管理局 安芸森林管理署
事業の概要・目的	<p>安芸森林計画区は、高知県東部に位置し、室戸・阿南海岸国立公園を含む区域であり、国有林29,025haのうち魚梁瀬地区周辺の、8,066haを対象としている。</p> <p>当地域の立地条件等（奥地林・里山林）は多様であるが、自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>当地域では、水土保全、自然環境の保全など国有林に対する要請に応えつつ、集落周辺国有林の適切な森林整備を行うことにより、山村地域の居住環境の改善や都市と山村との交流等の促進にも資することを目的とする。</p>		
	主な事業内容	森林整備	更新面積 103 (ha) 保育面積 160 (ha)
費用対効果分析	総費用（C）	107,326（千円）	
	総便益（B）	水源かん養便益	271,693（千円）
		山地保全便益	53,183（千円）
		環境保全便益	10,640（千円）
		木材生産便益	18,053（千円）
		森林整備経費縮減等便益	0（千円）
		計	353,569（千円）
	分析結果（B/C）	3.29	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性：森林の有する多面的機能の発揮に重要な役割を果たす山村において居住地周辺の森林整備を推進し、山村の就業機会の増大や定住条件の整備を図るため本事業の実施が必要である。</li> <li>・ 有効性：国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を、踏まえた計画的な森林整備の実施により、森林の有する機能を十分発揮させるために有効な事業と認められる。</li> <li>・ 効率性：費用対効果分析の結果から効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>		

国有林森林整備事業の事前評価の費用対効果集計表

森林管理署	愛媛
森林計画区	肱川
事業名	森林居住環境整備事業

効果測定項目	評価内容	便益額 B (評価額)			備 考
		森林整備計	路網整備計	(千円) 計	
水源かん養便益	洪水防止便益	12,722		12,722	
	流域貯水便益	4,881		4,881	
	水質浄化便益	6,249		6,249	
山地保全便益	土砂流出防止便益	11,482		11,482	
	土砂崩壊防止便益			0	
環境保全便益	炭素固定便益	3,952		3,952	
林業生産便益	木材生産等経費縮減便益			0	
	木材利用増進便益			0	
	木材生産便益(森林整備分)	4,793		4,793	
	木材生産便益(路網整備分)			0	
森林整備経費 縮減等便益	歩行時間等経費縮減便益			0	
	作業道作設経費縮減便益			0	
	治山経費縮減便益			0	
	森林管理等経費縮減便益			0	
総便益額 ( B )		44,079	0	44,079	
総費用額 ( C )		29,375		29,375	
費用対効果分析 ( B ) / ( C ) =				1.50	

注) 1  に適宜入力する。

2 ( B ) / ( C ) 1 . 0 であれば, 社会経済的に評価でき, 実行可能性があることを意味する。

国有林森林整備事業の事前評価の費用対効果集計表

森林管理署	安芸
森林計画区	安芸
事業名	森林居住環境整備事業

効果測定項目	評価内容	便益額 B (評価額)			備 考
		森林整備計	路網整備計	(千円) 計	
水源かん養便益	洪水防止便益	125,587		125,587	
	流域貯水便益	45,578		45,578	
	水質浄化便益	100,528		100,528	
山地保全便益	土砂流出防止便益	53,183		53,183	
	土砂崩壊防止便益			0	
環境保全便益	炭素固定便益	10,640		10,640	
林業生産便益	木材生産等経費縮減便益			0	
	木材利用増進便益			0	
	木材生産便益(森林整備分)	18,053		18,053	
	木材生産便益(路網整備分)			0	
森林整備経費縮減等便益	歩行時間等経費縮減便益			0	
	作業道作設経費縮減便益			0	
	治山経費縮減便益			0	
	森林管理等経費縮減便益			0	
総便益額 (B)		353,569	0	353,569	
総費用額 (C)		107,326		107,326	
費用対効果分析 (B) / (C) =				3.29	

注) 1  に適宜入力する。

2 (B) / (C) 1.0 であれば, 社会経済的に評価でき, 実行可能性があることを意味する。